

教材の工夫を通して、基礎基本の定着を図る取組

【三郷市教育委員会】

1 学校・学年・教科 小学校・3、4、5、6学年・社会科

2 ねらい 具体物や見学などの体験的活動を通して社会科への興味・関心を高めるとともに教材の工夫を通して基礎基本の定着を図る。

3 主な取組

(1) 社会科への興味関心を高める取組

社会科において実物教材を用意し、実際に見たり、触れたり、体験的な学習をしてみたりすることはとても大切であり、有効な指導法である。本校では様々な場面において実物教材の提示や体験的な学習をする機会を増やした。その際、事前に体験する時の視点を明確に指示し、目的をもって活動をさせた。

○学習意欲を高める体験的活動の重視（6学年）

第6学年の歴史単元は、資料を読み取り歴史的事象を覚えるといった、思考中心の学習になりがちである。児童に高い学習意欲をもたせるには、具体物の提示や体験的活動が有効である。

- ・縄文時代と弥生時代の学習では土器の複製を提示した。さらに触れさせて使い方を考えさせることで、当時の人々の生活の様子を意欲的に考えることができた。他にもできる限り体験的活動を取り入れた。

提示した土器の複製→



- ・室町文化の学習では、水墨画の体験学習を取り入れた。雪舟の人物像や水墨画について学習した後に活動を行った。その際、雪舟の気持ちを考えさせるとともに、室町文化の特徴も考えさせた。

児童が描いた水墨画→



<児童の感想>

- ・いろいろな土器の種類があつておもしろい。
- ・時代が進むにつれて、土器が使いやすくなっていることが分かった。
- ・墨の濃淡だけで表現するのが難しかった。雪舟はすごいと思った。
- ・生け花や茶道など他の室町文化も体験してみたい。

○目的意識をもたせた社会科見学の充実（4学年）

第3・4学年の地域学習では、社会科見学が学習手段として有効である。その際、目的意識をもたせることが大切である。

- ・浄水場見学では、施設の役割について事前指導し、重点的に見学するポイントについて考えてから、見学を行った。水が浄化されるまでの流れを追うとともに、そこで働いている人々の願いを考えさせた。

浄水場の中央指令室を見学している様子→



- ・ごみ処理場見学でも、施設の役割について事前指導し、見学する視点を明確にしてから見学を行った。施設の様子やごみが処理されるまでの過程を見学するとともに、環境への配慮についても考えさせた。

クレーンの実物大の前を通る児童の様子→



<児童の感想>

- ・水をきれいにするために、いろいろな機械を使っていることが分かった。
- ・普段何気なく使っている水も、多くの人たちに守られているんだなと思った。
- ・この施設の大きさと、たくさんのゴミ収集車が集まってきたことに驚いた。
- ・このごみ処理場は、環境のことも考えているのすごいと思った。

(2) 基礎基本の定着を図る取組

社会科の基礎基本とは、資料を読み取る力と知識理解であると考え。そこで本校では、資料の読み取りを重視し、資料やグラフの読み取り方を丁寧に指導した。その際、児童が意欲を持てるように、教材を工夫し、わかりやすい資料を提示した。また、反復学習を取り入れて、基礎基本の定着を図った。

○資料やグラフ、地図の読み取りを徹底させる取組（3～6学年）

- ・写真や絵の資料では、見るポイントを明確にしてから読み取らせた。
- ・グラフでは、読み方を指導するとともに、数値に着目して大小を比較するようにした。
- ・地図学習では、地図記号、等高線、縮尺についてしっかり定着させた。また、些細なことでも地図帳を使って調べることで、地図に慣れるようにした。写真のような立体地図も用いた。



↑ 埼玉県の立体地図

○基礎基本の定着を図る取組（4学年・5学年）

指導要領解説では47都道府県の名称と位置を小学校修了までに確実に身に付け、活用できる必要があると記載されている。本校では小テストで習熟を図った。地方ごとに名称と位置を身に付けさせてから、日本全体の地図で確認していくといったスモールステップで習熟を図っていった。全問正答で合格とし、合格するまで繰り返し小テストを行った。また、パズルを用いるなどの教材の工夫も図った。

4 成果と課題

- ・体験的活動は、社会的事象への興味・関心を高める上でとても効果的であることがわかった。また、事前指導を行うことで、体験することの意味を児童に理解させることができた。しかし、体験だけで終わらないように、振り返りを行い、活動を通して考えたことを発表する活動を行った。そうすることで、体験的活動がさらに効果的になった。
- ・資料やグラフ、地図の読み取りは毎時間継続して取り組むことで効果が表れてきた。グラフに関しては算数の学習ともかかわっているので、算数でグラフの学習をした後は、さらに読み取りができるようになった。47都道府県の習得においては、6学年でも継続して取り組む必要があると思われる。

